

学校教育局教職員育成課 主任 梅坪 優人 平成30年度採用(教育行政A)



○主な経歴

H30.4 後志教育局

R4.4 学校教育局教職員育成課

－北海道の教育行政を選んだ理由－

元々子どもに教えることが好きなので教員免許も取得していますが、学校現場で指導するよりも、少し俯瞰した立場で教育に携わりたいと思ったため、事務局職員や学校の事務職員として勤務する教育行政を選びました。

－担当業務とそのやりがい－

主に新採用の先生方の研修を担当しています。各教育局における研修の大元になる要項準則の作成や研修コンテンツの提供をしており、実際に研修の状況を視察に行った際に、自分が作った資料などが使われているのを見たり、どう使われているのかを聞いたりすると、自分の仕事が形として見えるのでモチベーションになります。

－道教委の仕事の魅力(北海道で働くことの魅力)－

北海道自体が広大なので、農業高校や水産高校、地域に根ざした取組をしている高校など、管内によって特色ある学校が多くあります。異動により特色のある管内で事務局職員として勤務したり、それらの学校独自の取組に関わることができるのは、北海道ならではの魅力だと思います。

－所属の雰囲気(はたらきやすさ)－

本庁の他課と比べると小さい課で、周りは全員先輩職員なので、困ったらすぐに聞ける環境にあると感じています。

－異動を経験してみて(係異動も含む)－

私の場合は異動前後で仕事の内容が全然異なりますが、たまに前の係の経験を今の仕事に活かせることがあります。経験の有無で業務に対する考え方・理解度も変わるので、一つ一つの仕事を理解してやっていくことで、それらが自分の武器になり将来の自分の手助けができると考えています。

－余暇の過ごし方－

後志教育局にいた時は、他の職員と羊蹄山に登ったり、若手職員でニセコでグランピングしたり、小樽の海に遊びに行ったり、その土地ならではの楽しみ方をしていました。(写真はその当時のものです。)

－これから教育行政区分の試験を受験する方・採用予定者へのエール－

これからどこの管内でどのような仕事をするのか期待と不安を感じると思いますが、どの職場であっても皆さんを温かく迎え入れてくれる先輩や同僚がいます。一緒に仕事をできることを楽しみに待っています。